

## 募集案内所で入隊予定者を激励



入隊前に記念撮影（左から、担当広報官の石村曹長、曹候入隊予定の田中君、佐々木君、高野君、松本君、平原所長）

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 平原1陸尉）は、3月23日（月）陸上自衛隊一般曹候補生入隊予定者を激励した。例年は、2月末から3月の始めにかけて入隊入校予定者とその家族が一斉に集まり、入隊入校予定者激励会を実施しているが、今年は諸事情によりこの恒例行事が実施できず、個別に入隊予定者が事務所を訪問又は、広報官が対象者の家を訪問し入隊書類の確認や健康状態の把握、入隊入校直前における生活の助言などを行っている。この日は、4名の入隊予定者が翌日24日の入隊前に来所して所員と懇談した。入隊予定者からは改めて「外出はいつからできますか」「宮内生活について教えてください」などと、入隊してからの生活に不安や関心を持っていることがうかがえた。広報官が経験や現状を説明すると少し安心したようだった。その後、事務所近くで記念撮影を行った。

横浜中央募集案内所は、「その時の状況に応じて臨機応変に対応し、国防に情熱を持った若者を激励し、少しでも入隊への不安除去に努め、募集成果向上を図りたい」としている。

## 令和元年度一般曹候補生（陸自）着隊業務



神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 信國2陸尉）は、3月24日（火）同事務所から第117教育大隊（武山駐屯地）に一般曹候補生として入隊する5名の送迎を実施した。

対象者は地域事務所に集合し担当広報官より携行書類等の確認を受け、第117教育大隊（武山駐屯地）に向け事務所を出発した。

対象者の中には「昨夜は緊張してあまりよく眠れませんでした」など少し緊張した様子であったが、移動する車両において広報官から入隊直後の経験談、教育隊での訓練内容及び生活環境の話や聞くとともに、他の入隊者との会話によって駐屯地に到着する頃には、決意に満ちた凛々しい顔となっていた。

着隊業務を担当した広報官は、無事に着隊した喜びと広報官業務の成果を感じる1日となった。

小田原地域事務所は、「今後も、入隊・入校者とのつながりを大切にするとともに、入隊入校者と連携した募集広報活動にまい進していく」としている。